

まちなか居住

元気に安心して暮せる住いの実現に向けて

元気居住都心調査報告



(計画の経過)

早稲田大学佐藤滋研究室と鶴岡市では、鶴岡市の中心市街地「銀座地区」の遊休地を活用し、中心市街地を元気づけるプロジェクトとして「元気居住都心整備事業」の計画を進めております。

これは、平成12年度旧建設省の「歩いて暮せるまちづくり事業」の指定を受け、市民参加型ワークショップの中から出された意見の中から、都心居住福祉都心の2点に焦点をあて、平成13年6月23日から立ち上げた構想です。現在までの2年半余の期間の中で、市民ワークショップ、町内会ワークショップ、市内住替えデータ分析調査、首都圏調査、市内ヒアリング調査、コミュニティ視察調査、シニア講演会、シニア懇話会、東京ワークショップ等を踏まえ、平成13年11月に「元気居住都心提言書」、平成14年3月に「元気居住都心基本構想」、平成15年3月に、「元気居住都心基本計画概要書」を策定し、このたび平成17年3月26日(土)に鶴岡「元気居住都心」調査報告書を公表します。



(計画概要 三本の柱)

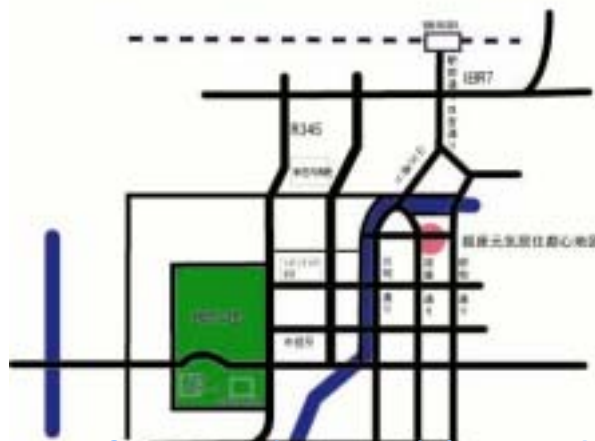
計画の大きな三本の柱としましては、

単なる公共事業の箱物行政とならないよう《民間主導型事業》とする
人口低下が顕著である中心市街地に居住人口を呼び戻すための《都心居住施策》とする。

今後増加する高齢者、特に元気なシニアが自ら主体的に活動できる場と仕組みづくりをする《元気シニア活動拠点整備》を行う

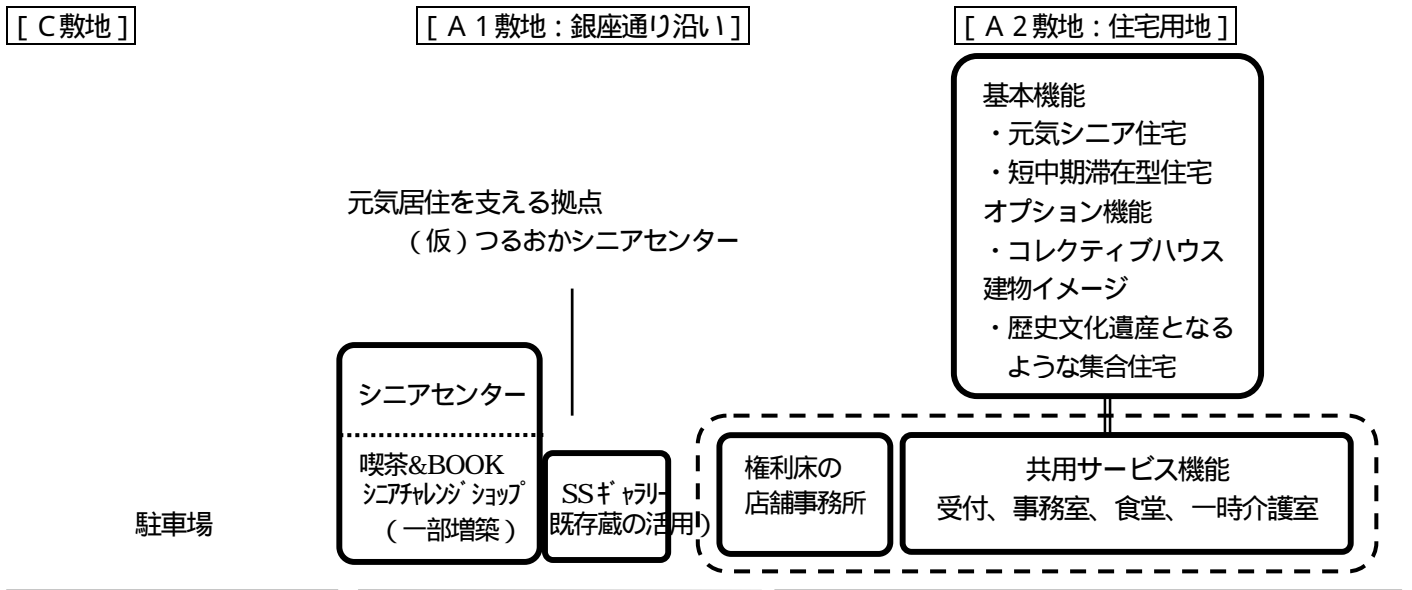
(整備目標としましては)

事業の着手から完了までを中期目標(3~5年先程度)として予定しています



気のあう仲間と
素敵な街で.... 暮す

図 - 3 . 鶴岡「元気居住都心」基本計画 導入機能の方針



駐車場
・元気居住を支える拠点用

(仮) つるおかシニアセンター

- ・元気シニアセンター (鶴岡市まちづくりサポートセンター機能併設)
- ・早稲田まちづくり塾 (多目的学習ルーム)
- ・市出身アーティスト蔵のセレクトショップ
- ・カフェ&BOOK ギャラリー (ミニシアター)
- ・シニアチャレンジショップ (シニア運営の店、シニア向けの店)

店舗・事務所 (権利者用床)

- ・商店街全体のテナントミックスに資する店舗
- ・生活利便を提供する拠点

元気シニア住宅

- ・単身用、夫婦用住宅
- ・軽度の要介護状態の人を対象、健康を維持し、自立を助ける機能の提供

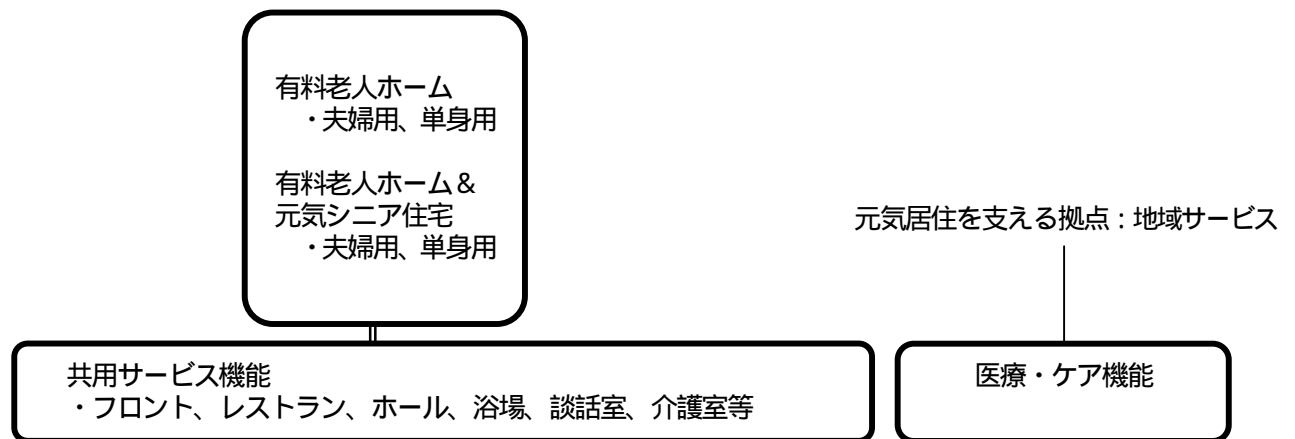
コレクティブハウス

- ・多世代用、生活機能を共用する集合住宅

[B敷地]

高齢者向けケア付き住宅

医療・ケア拠点



有料老人ホーム

- ・ユニットケアシステムの導入
- ・単身用、夫婦用居室を用意
- ・全体共用機能とユニット共用機能

介護、入浴、食事、生活、健康管理サービス等の提供

元気シニア住宅

- ・単身用、夫婦用住宅
- ・共用サービス機能

有料老人ホームと共用

医療法人で展開可能な施設

- ・診療所
- ・老人デイケア施設
- ・訪問看護ステーション

テナント誘致

- ・ホームヘルプなど

鶴岡「元気居住都心」の基本事業スキーム（三者独立型）

